

第4学年1組 音楽科学びプラン

題材名 「いろいろな音のひびきを楽しもう」～曲のよさが分かるキャッチコピーをつくろう～
指導者 松藤 梨代

子どもの実態から

「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の学習では、リズム、強弱、速さなどの音楽を形づくっている要素から旋律の特徴を捉えることができているが、その特徴の働きが生み出す面白さやよさなどを感じ取ることができない子どももいる。そこで、自分たちで音の変化を試す活動や、フルートなどの旋律楽器の実演を聴く場を仕組むことで、旋律の印象の変化を体感できるようにする。また、キャッチコピー作りなどの言語活動を通して、感じ取った魅力を言葉で表現する力を身に付けられるようにする。その中で、子どもが「もっと工夫して演奏したい」「自分の感じたことを表せるようになりたい」という思いからチャレンジ目標を設定し、個人または友達とともに活動しながら、自分の考えを修正・改善を図り、よりよい表現ができるようにする。

題材の価値

「いろいろな音のひびきを楽しもう」では、音色を中心に音の重なりや音楽の仕組みとの関わりを取り上げながら、表現と鑑賞の学習を進めていく。

本題材の鑑賞教材では、フルートが主旋律を担当する楽曲を3曲用意する。各曲における音色や旋律の違いを比較することで、フルートの多様な音色や表現、旋律の特徴への理解を深めることをねらいとしている。また、キャッチコピーを作るという目標を設定することで、子どもがその曲をどう感じたか、なぜそのように感じたのかを、音色の特徴に着目し、よりよい表現にしようとするとする主体性を育むことができる。さらに、多様な他者との協働の中で、キャッチコピーを紹介し合うことで、音の感じ方の多様性を実感できる価値がある。そして、繰り返し楽曲を聴くことで、音楽を形づくっている要素に対する理解が深まり、音楽の面白さや楽しさを実感するとともに、新たな気付きを得ることができる。その積み重ねが、粘り強く活動に取り組む原動力につながると期待できる。

この活動は、友達の考えを聞いて、もっと様々な曲を聴いてみたいと主体的に音楽に親しもうとする態度を養う上でも効果的であると考える。本題材での学びは、第5学年「音の重なりを感じ取ろう」につながるものであり、弦楽器の音色の特徴を捉えることにもつながっていくものである。

題材の仕組み方の工夫

セットアップ段階では、材質の異なる楽器を鳴らして、同じ楽器から様々な音が出るのか確かめ合う活動を通して、音の響きや長さ、高さ、音色の感じなどの特徴の違いに気付くことができるよう支援する。その特徴を生かしながら、音楽づくりに取り組む場を仕組む。

アクション段階では、ゲストティーチャーを呼び、フルートの楽器の仕組みや、音色、息遣いを実感できる場を仕組む。フルートという1つの楽器だけで様々な音色を出していることに気付くことができるようする。それから、曲のよさや面白さを伝えるためのキャッチコピーを作るという目標と、それを発表する機会を設定し、音色や旋律の特徴などの音楽を形づくっている要素に着目してフルートがメインの3つの曲を自由に聴く場を仕組む。その際、チャレンジ目標を設定し、曲のよさや面白さを見つけるために、納得するまで繰り返し曲を聴くようする。

パワーアップ段階では、本題材で学んだことを活かし、グループで「茶色の小びん」のキャッチコピーを作ったり、合奏に取り組んだりする場を仕組む。この曲の合奏では、音色の特徴や音量のバランスに注意を払いながら、お互いの表現を深める工夫を重ねることで、質の高い演奏を目指す。また、表現力を高め、自分らしいアプローチで演奏を工夫することで、1つの曲でも様々な音楽の表現ができるることを実感することができる。これにより、本題材の学びを活かした音楽の一体感を味わうことができるようする。

題材の評価規準

知識・技能

鑑賞の学習を通して、曲想及びその変化と、楽器の音色や音の重なりなどの音楽の仕組みに気付いている。

器楽の学習を通して、思いや意図にあった表現をするために、音色の特徴や音の響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏している。

思考・判断・表現

楽器の音色と音楽の仕組みとの関わりについて、楽器の音色、旋律、音の重なりを基に、音楽の面白さや美しさを感じ取りながら、音楽をどうつくるのかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わったりしている。

主体的に学習に取り組む態度

楽器の音色や組み合わせについて即興的に表現したり、納得するまで繰り返し曲を聴いたりしながら問題を解決しようとしている。

楽器がもつ様々な音色について学んだことを振り返り、チャレンジ目標を立てて粘り強く取り組み、学習や生活に活かそうとしている。

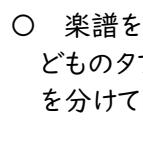
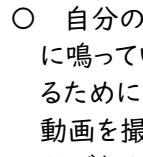
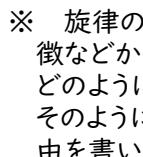
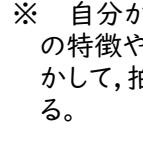
題材プラン（全8時間）

セッティング段階（2時間）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材質の異なる楽器を鳴らすことで、音の響きや長さ、高さ、音色の感じなどの音色の特徴の違いに気付くことができる。 ○ 3人グループを作り、図形カードをもとに楽器の鳴らし方を工夫して、オリジナルの音楽をつくることができる。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材質の異なる楽器を鳴らして、同じ楽器から様々な音が出るのか確かめ合う活動を通して、材質の特徴や鳴らし方を工夫して楽器を鳴らすことの楽しさに触れて、オリジナルの音楽をつくるという課題をつかむ。① ○ 3人グループを作り、即興的に音を鳴らしたり、友達と話し合ったりしながら、楽器の音色の特徴を活かしたオリジナルの音楽をつくる。①
主な活動と予想される児童の反応	○場づくりと支援 ※評価
<p>いろんな楽器を工夫して鳴らしてみて、音色の特徴を調べよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>皮がはってある楽器</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>金属でできている楽器</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>木でできている楽器</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>小太鼓の音色は硬い。弱く叩くと響かないけど、強く叩くと、大きい音がして響くよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>鉄琴はコーンと硬い音色だね。そのままたたくと音が短いけど、ペダルを踏むと、長く響いたよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>「ウッドブロック」は「コンコン」と少しかたい音色だ。たたくと、左右で聞こえてくる音が違う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>トライアングルは、手で押されて持つと、音が響かなくなつた。</p> </div> </div> <p>楽器の音色の特徴に注目して、曲を聴いたり、工夫して演奏したりしよう。</p> <p>楽器の鳴らし方を工夫して、オリジナルの音楽をつくろう。</p> <p>音の強弱を表す図形カードを使って、楽器の鳴らし方を工夫してオリジナルの音楽をつくろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ウッドブロックを交互にたたくと、時計の針みたいに聞こえるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>鈴を長く振って鳴らすと、目覚まし時計の音みたいだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>カスタネットをたたく力を変えると、音の大きさも違うね。だんだん大きくしていくと、迫力がでるよ。</p> </div> </div> <p>楽器を鳴らす場所や鳴らし方によって、楽器の音色が変わるのが分かりました。違う楽器でも試してみたいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが音色の特徴に気付くために、それぞれ材質の違う楽器を用意し、試しの活動をする場を仕組む。 ○ 一つの楽器から違う音色が出せることに気付くことができるよう、「他にどんな鳴らし方がある?」と問い合わせる。 ○ 音色の特徴マップをタブレットに準備し、それぞれの楽器の特徴を分類できるようにする。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>【音色のとくちょう】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートを用いて、材質による音の特徴を見つけ、友達と交流する場を仕組む。 ○ 図形カードのつなげ方や重ね方に迷っている子どもには、即興的に音を選んで鳴らすように伝える。 ○ 自学に生かしたり、意欲をもって次の学習に向かったりすることができるようするために、次の学習活動を予告する。

アクション段階（3時間）

ねらい ○ 主な旋律の特徴と曲想との関わりに気を付けて音楽を聴き、フルートの音色の特徴を感じ取り、感じたことや気付いたことを書いたり話し合ったりする。 ○ 曲のよさや面白さを伝えるためのキャッチコピーを作る活動を通して、フルートの演奏の仕方によって変化する音色の特徴に着目し、音色による表現の違いや曲の魅力に気付くことができる。	活動 ○ 配時 ○ フルートの楽器について、演奏の仕方を知り、演奏の仕方によって音色が違うことを理解する。 ① ○ フルートが主旋律の3つの曲を、楽器の音色や旋律の変化に着目しながら聴き、自分が選んだ曲のキャッチコピーを作る。②2/2 本時		
主な活動と予想される児童の反応 3つの曲に使われているフルートってどんな楽器だろう？	○場づくりと支援 ※評価 ○ フルートの楽器の仕組みや演奏の仕方、息遣い、音色の感じを実感できるようにするために、ゲストティーチャーのフルート演奏を鑑賞する場を仕組む。 ○ フルートの音色の違いから生まれるよさや面白さに気付き、言葉で表現できるようにするために、キャッチコピーに表すという活動を設定する。 ○ フルートがメインの曲を聞き、どのように感じたのか自由に話し合う場を仕組む。 ○ 3曲の演奏動画を準備し、フルートの演奏の違いから出る音色の特徴に気付くように支援する。 ○ タブレットの発表ノートに図形楽譜と楽譜を提示し、旋律の特徴が視覚的に分かりやすくする。		
 <演奏の仕方> ・横に持っていて、息を吹いて音を出している。 ・ボタンみたいなところを押している。(キー) <音色> やわらかい、やさしい、ふわふわしている、明るい <音色の違い> ・息を短く切ると、音色が弾んで明るく聴こえる。 ・息を長く吹くと、優しい音色になる。	フルートの音色のよさが伝わる曲のキャッチコピーを作ろう。		
○この曲はどんな曲かな? ①管弦楽組曲第2番より「ポロネーズ」:バッハ 作曲  優雅な曲だね。お城でジャンプして踊っているみたい!途中でフルートの吹き方が変わるよ。	○なんでこんな感じがするんだろう。フルートの音色に着目して、よく聴いてみよう。  ゆったりとしてて気分がよくなる曲だな。 フルートの音色がきれいだな。		
②「アルルの女」第2組曲より「メヌエット」:ビゼー 作曲  聽いたことある曲だ。ひょこがちょこちょこ動いているみたいな曲だ!	 優雅に聴こえるのは、フルートの高くてやさしい音色が聴こえるからだね。	フルートの音色がゆったりしていて音が高くなっているから聴いていて気分がいいんだ。	フルートが弾んで明るい音色だから楽しく聴こえるんだね。
 僕が考えたキャッチコピーは「落ち着いた気分になれるフルートの「メヌエット」です。その理由は、フルートの音色がやさしくて、ゆっくり演奏しているから気分が落ち着くからです。	※ フルートの演奏の仕方によって変化する音色の特徴に着目し、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを言語表現している。		

パワーアップ段階（3時間）

ねらい それぞれの楽器の音色の特徴を活かして演奏の工夫を考え、自分たちのグループで「茶色の小びん」のキャッチコピーを作ったり、合奏したりしよう。	活動 〇配時 ○ファの♯の音が楽譜のどこにあるのか確認し、主な旋律を演奏する。① ○主な旋律、副次的な旋律、和音、低音の各パートの特徴を知り、各楽器の担当を決めて楽器の音量や鳴らし方を工夫して演奏する。① ○自分たちのグループで「茶色の小びん」のキャッチコピーを作ったり、楽器の音色の特徴を活かしながら合奏したりする。①
主な活動と予想される児童の反応 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 演奏の工夫を考えて、自分たちで「茶色の小びん」のキャッチコピーを作ったり、合奏したりしよう。 </div> <p>「茶色の小びん」の主な旋律を、鍵盤ハーモニカで弾いてみよう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> ファの♯は半音上がって黒い鍵盤になるんだね。気を付けて演奏しよう。 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-right: 20px;"> 自分の楽器の音色を工夫して鳴らしたいな！ </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 鍵盤ハーモニカは、伸ばす音と短く切る音があると楽しく聴こえるよ。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 木琴はあまり響かないように、糸巻のマレットでたたくといいかもしれない！ </div>  </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-right: 20px;"> 自分たちのグループのキャッチコピーはどうなるだろう。 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> わたしたちのグループは、音の強弱を工夫して、いろんな飲み物が出てくる「茶色の小びん」をつくりました。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> 私たちのグループは音色が弾むように楽器を工夫して鳴らすから、元気になれる「茶色の小びん」です。 </div> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-right: 20px;"> それぞれのグループの合奏を聞いてみよう！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 楽器の音色の特徴や鳴らし方を工夫すると、同じ曲でもいろいろな表現ができる、楽しく演奏することができた。 </div> </div> </div> </div>	〇場づくりと支援 ※評価 <ul style="list-style-type: none"> ○ シンコペーションのリズムを理解させるために、手拍子でリズムを確認する場を仕組む。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽譜を見やすくするために、子どものタブレットに各楽器の楽譜を分けて配付する。 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の楽器の音色がどのように鳴っているのか分かりやすくするために、友達と聴き合ったり、動画を撮ったりして確かめることができる場を仕組む。 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <ul style="list-style-type: none"> ※ 旋律の特徴や楽器の音色の特徴などからキャッチコピーを作り、どのように演奏するのか、またなぜそのように演奏したいのか、その理由を書いている。 </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <ul style="list-style-type: none"> ※ 自分が担当するパートの旋律の特徴や楽器の音色の特徴を活かして、拍に合わせて演奏している。 </div>

本時（5／8）音楽室に於いて

本時めざす子どもの姿

演奏の仕方によって変化するフルートの音色の特徴に着目し、フルートが使われている曲のよさや面白さを伝えるための音色による表現の違いや曲の魅力に気付くための活動を通して、キャッチコピーを作ることができる。

本時の学習過程

段階	主な活動と予想される児童の反応	○場づくりと支援 ※評価
導入	<p>1 チャレンジ目標を確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの曲の感じを捉える活動を振り返り、よりよくしたい観点を明確にしながら自己のチャレンジ目標を確認する。 <p>〈キャッチコピーを作るための視点〉</p> <p>フルートの音色、旋律の特徴、音の重なり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【チャレンジ目標の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの曲を聞き比べて、フルートの音色の特徴がもっと分かるようなキャッチコピーを作ろう。 ・フルートを演奏している人になりきって曲を聴いて、フルートのよさが伝わるキャッチコピーを作ろう。 ・たくさん曲をきいて、友達と話しながらキャッチコピーを作ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに書いたチャレンジ目標の内容を一覧にまとめ、誰がどのような活動に取り組むのか、把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>※教室の場づくり</p>  <p>始めに班ごとに机に集まり、活動が始まったら、自分の活動に応じて自由に移動する。教室前方は個人で活動するスペース、後方は協働で活動するスペースに分ける。</p> </div>
展開	<p>2 納得するまで繰り返す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 曲のよさや面白さを見つけるために、納得するまで繰り返し曲を聴く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「ポロネーズ」は、最初は優雅に聞こえるけど、途中で弾んでいる感じに聴こえる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「あし笛の踊り」はいきなり高く弾むから楽しく踊っている様子が浮かぶよ。</p> </div> <p>3 「もっと～したい」を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 曲を聴いて、フルートの音色や旋律の特徴について分かったことをもとに、キャッチコピーを作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>フルートの音色が明るくて、弾んでいて、小鳥の様子が浮かんだな。『小鳥が楽しくおしゃべりしている「あし笛の踊り』にしよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>フルートが途中で変わった感じが面白いから、『ゆったりからとちゅうで飛び跳ねるフルートが面白い「ポロネーズ』にしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットの発表ノートに图形楽譜や楽譜などを提示し、旋律の特徴を視覚的に旋律の動きを捉えたりすることができるようする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>の主せんりつ</p>  <p>の主せんりつ</p>  </div> <p>『小学生の音楽4』株式会社 教育芸術社</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャッチコピーの言葉に迷っている子どもに、音楽の語彙集を参考にするとよいことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <p>「バッハ」作曲『メヌエット』</p> <p>【落ちていた気分になれるフルートの「メヌエット」】</p> <p>このキャッチコピーにした理由は、フルートの音色が優しくて、ゆっくり演奏していて気分が落ち着くからです。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選んだ視点からキャッチコピーを作れていない児童に対しては、「どの視点で作っているの?」と問い合わせる。

終末	<p>4 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のチャレンジ目標が達成できたか、振り返る。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>3つの曲を聴き比べたことで、フルートの音色の特徴にたくさん気付くことができた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>フルートの演奏者になりきると、どんな指使いで演奏しているのか分かりやすかった。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習内容を知り、チャレンジ目標を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と本時の学びを伝え合うことで個々の学びを深め、振り返る場を仕組む。 <p>※ フルートの演奏の仕方によって変化する音色や旋律の特徴に着目し、①それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさをキャッチコピーに表し、②その理由を書いているか見取る。 【思考・判断・表現】</p> <p>A : ②が①の内容と関連付けて、具体的に記述している。</p> <p>B : ①と②を書いている。</p> <p>C : ①か②のどちらかを書いている。</p> <p>○ 自学につなげたり、意欲をもって次の学習に向かったりすることができるようために、次時の学習活動を予告する。</p>
	<p>【チャレンジ目標の例】</p> <p>次の学習は「茶色の小びん」の合奏なので、高くてきれいな音色の鉄琴を担当して演奏したい。</p>	

アクション段階 振り返りシート(例)

チャレンジ目標	フルートの演奏を聴いて、音色のよさをたくさん見つけよう。		
達成度	○	○	△
振り返り	初めてフルートの音を聴いて、とてもやさしい音色だなと思いました。息の出し方で、音色が変わることが分かりました。もっと、音色のよさを見つけたいです。		



チャレンジ目標	キャッチコピーを作るために、フルートの音色に注目して、何度もくりかえし聴こう。		
達成度	○	○	△
振り返り	「メヌエット」は優雅でお城で踊っているみたいな曲でした。途中でフルートの吹き方が変わることが分かりました。一曲しか聴けなかったので、次は他の曲も聴いてみたいです。		



チャレンジ目標	他の曲とき聴きくらべて、自分でフルートの音色のよさをもっと見つけて、キャッチコピーを作ろう。		
達成度	○	○	△
振り返り	「メヌエット」は優雅な旋律だけど、「あし笛」の踊りははずんでいて楽しい感じがしました。曲を比べることで、旋律の面白いところがもっと分かって、キャッチコピーを作ることができました。		